



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 ステラケミファ株式会社
 コード番号 4109 URL <http://www.stella-chemifa.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 深田 純子

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 中島 康彦

TEL 06-4707-1512

四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	25,034	14.4	2,286	33.9	2,119	37.5	1,441	38.8
29年3月期第3四半期	21,887	6.3	3,459	343.8	3,391	281.2	2,354	172.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,385百万円 (21.2%) 29年3月期第3四半期 1,758百万円 (213.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	114.32	
29年3月期第3四半期	196.24	190.19

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	49,399	32,624	63.4	2,424.89
29年3月期	52,081	29,516	53.9	2,281.99

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 31,312百万円 29年3月期 28,078百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		17.00		24.00	41.00
30年3月期		20.00			
30年3月期(予想)				21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	33,400	11.9	2,100	52.0	1,900	54.3	1,400	50.4	110.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	13,213,248 株	29年3月期	12,604,416 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	300,185 株	29年3月期	300,147 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	12,608,801 株	29年3月期3Q	11,999,686 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想の利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信「添付資料」2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(2)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が引き続き安定して推移し、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費に持ち直しの兆しが見られ、引き続き緩やかな回復基調にあります。欧米の不安定な政治動向や北朝鮮情勢の緊迫化による影響が懸念され、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

このような環境のもと、当社グループは国内外の情報通信産業を中心に、顧客のニーズに基づいた多種多様なフッ化物製品の供給を行うとともに、特殊貨物輸送で培った独自のノウハウに基づいた化学品の物流を担う事業展開を行ってきました。

当第3四半期連結累計期間の業績におきまして、活況な半導体市場を背景に半導体液晶部門の販売が増加したことにより、売上高は250億34百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

利益面におきましては、売上高が前年同期比で増加したものの、主要原料の無水フッ酸価格について、期初より高騰した後、第2四半期については価格が低下基調に転じ、正常化に向かうものと想定しておりましたが、下期に入り再急騰していることから利益を大きく圧迫する要因となり、営業利益は22億86百万円（同33.9%減）となりました。営業利益の減少を受けて、経常利益は21億19百万円（同37.5%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億41百万円（同38.8%減）となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成29年8月8日公表の平成30年3月期の通期業績予想を修正しています。

詳細は、平成30年2月9日付「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想については、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,361	9,663
受取手形及び売掛金	7,867	9,251
商品及び製品	2,538	2,804
仕掛品	1,226	1,434
原材料及び貯蔵品	1,173	1,431
その他	920	1,422
貸倒引当金	△18	△22
流動資産合計	28,069	25,985
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,207	7,044
機械装置及び運搬具(純額)	7,010	7,049
土地	5,467	5,467
建設仮勘定	1,199	416
その他(純額)	1,187	1,507
有形固定資産合計	22,072	21,485
無形固定資産		
その他	129	139
無形固定資産合計	129	139
投資その他の資産		
その他	1,842	1,818
貸倒引当金	△33	△30
投資その他の資産合計	1,808	1,788
固定資産合計	24,011	23,413
資産合計	52,081	49,399

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,790	1,843
短期借入金	2,320	1,950
1年内返済予定の長期借入金	3,684	3,009
未払法人税等	823	272
賞与引当金	333	161
その他	3,614	2,742
流動負債合計	12,566	9,979
固定負債		
社債	2,000	—
長期借入金	5,962	4,686
退職給付に係る負債	739	788
役員退職慰労引当金	533	554
資産除去債務	488	500
その他	275	264
固定負債合計	9,998	6,794
負債合計	22,564	16,774
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,688	4,829
資本剰余金	6,011	7,152
利益剰余金	18,567	19,448
自己株式	△495	△495
株主資本合計	27,771	30,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23	34
繰延ヘッジ損益	—	19
為替換算調整勘定	283	323
その他の包括利益累計額合計	307	377
非支配株主持分	1,438	1,311
純資産合計	29,516	32,624
負債純資産合計	52,081	49,399

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	21,887	25,034
売上原価	15,727	19,698
売上総利益	6,160	5,336
販売費及び一般管理費	2,700	3,050
営業利益	3,459	2,286
営業外収益		
デリバティブ評価益	310	159
持分法による投資利益	22	—
その他	107	77
営業外収益合計	440	236
営業外費用		
支払利息	38	32
為替差損	351	166
減価償却費	85	83
持分法による投資損失	—	67
その他	34	53
営業外費用合計	509	403
経常利益	3,391	2,119
特別利益		
固定資産売却益	28	18
特別利益合計	28	18
特別損失		
固定資産廃棄損	46	203
固定資産売却損	0	0
投資有価証券売却損	0	—
減損損失	76	—
特別損失合計	123	203
税金等調整前四半期純利益	3,295	1,935
法人税等	1,074	624
四半期純利益	2,221	1,311
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△133	△129
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,354	1,441

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	2,221	1,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13	11
繰延ヘッジ損益	7	19
為替換算調整勘定	△401	64
持分法適用会社に対する持分相当額	△83	△20
その他の包括利益合計	△463	74
四半期包括利益	1,758	1,385
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,939	1,512
非支配株主に係る四半期包括利益	△180	△126

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権付社債の転換に伴い、当第3四半期連結累計期間において資本金が1,141百万円、資本準備金が1,141百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が4,829百万円、資本剰余金が7,152百万円となっています。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	18,648	3,088	—	21,736	150	21,887
セグメント間の内部売上高 又は振替高	5	2,126	—	2,132	137	2,269
計	18,654	5,214	—	23,868	288	24,156
セグメント利益又は損失(△)	3,460	553	△585	3,429	20	3,449

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,429
「その他」の区分の利益	20
セグメント間取引消去	10
四半期連結損益計算書の営業利益	3,459

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間に、高純度薬品セグメントにおいて76百万円の減損損失を計上しています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	高純度薬品	運輸	メディカル	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,693	3,194	—	24,888	146	25,034
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	2,496	—	2,498	140	2,638
計	21,695	5,691	—	27,386	286	27,673
セグメント利益又は損失(△)	2,347	604	△704	2,247	26	2,274

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理事業、自動車整備事業を含んでいます。

2. 報告セグメントの利益または損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額および当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,247
「その他」の区分の利益	26
セグメント間取引消去	12
四半期連結損益計算書の営業利益	2,286

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失またはのれん等に関する情報

該当事項はありません。